

令和7年度上伊那圏域地域自立支援協議会議事録

会議	部会名 第3回 権利擁護部会	日時 令和 8年 2月 19日(木) 13:30 ~ 15:00
	会場 伊那市福祉まちづくりセンター 3階 第1,2研修室	参加者数 21人
主 テ ー マ	① 開会・挨拶 ② 事例報告 ③ 講義とGW「個別避難計画作成のための訓練～事例検討を通じて考える実践的避難支援～」 ④ その他	

- ① 開会・挨拶
部会長挨拶
- ② 事例報告
事例タイトル…“何がダメなのか、わからない”
GHで生活する知的障害の方が安心して地域に出掛けるため、対応した事例を報告者より報告。
多角的に考えるため来年度、今回の事例を部会の中で事例検討を行い、上伊那圏域・権利擁護事例集に追加予定。
- ③ 講義とGW「個別避難計画作成のための訓練～事例検討を通じて考える実践的避難支援～」
今までのおさらい(令和7年度権利擁護部会)
自然発災時におけるBCPについて(1回目)
災害リスクを知る、福祉従事者として発災前にできること(2回目)
福祉避難所について(1,2回目共通話題)
これらを踏まえて、3回目は個別避難計画についての「実効性」を高め、要支援者・支援者それぞれの視点での課題を、事例を基に用意された災害時個別支援計画を読み解きグループワークを実施した。
グループワーク後、2グループから発表を行った。
- ④ その他
セミナーに関するお知らせ。
アンケート回答のお願い。

【部会終了後のアンケートによる感想(一部)】

- ・事例報告については、障がい者の自立した生活のための考え方や心構えを学ぶことができて良かった。
- ・事例報告では、立場が違った自分はどのようにあげられるのか、考えるきっかけになった。
- ・関係機関で協力しながら、発災時にスムーズに活用することの出来る計画を作成していく必要があると感じた。
- ・そもそも避難所に行くことに困難さが予想されること等、話し合えた。「ではどうするの?」の部分を実際に考える必要を感じた。
- ・GHでの今後の防災訓練に、どのような視点を新たに取り入れる必要があるかを考えるきっかけとなった。

ま と め	事例報告を受けて、他業種との連携の必要性や、支援者として当事者の方が安心して今の生活を継続できるようにという視点を持っていていけば良いか考えることができた。 また、年度を通して、防災についての意識向上を目的に部会を開催してきた。来年度も防災について考える機会を作って欲しいというアンケートの要望もあったため、引き続き機会を設けられるように考えていく。
次 回	来年度、開催。